

平成31年度 第2回生活充実講話(交通安全)

平成31年4月15日実施

1 目的

生徒が自らの命を、自ら守る意識を高めるとともに、規範意識の高揚を図り、交通事故の未然防止を目指す。

2 交通安全講話 演題「自転車・歩行者から見た交通安全」

今回は交通事故から遠ざかるために自転車を運転する高校生が普段気をつけるべきことについて様々な映像をクイズ形式などでわかりやすく説明していただいた。

特に自動車、自転車、歩行者の3者がそれぞれの立場で交通ルールを守るという意識が大切であるが、自分に権利があっても他者が交通ルールをきちんと守らない場合もあるので、安全確認の意識が常に必要である。細い道から優先道路に出ようとして

いる車との接触を避けるために、見通しの悪い場合は車が来ているかもしれないと考えて速度を落としたり、運転手とのアイコンタクトをとったりする重要性を認識することができた。

また、自転車が加害者になってしまう可能性が十分にあるので、次のようなことを注意しながら自転車運転するようにアドバイスをいただいた。

- (1) 危険を予測すること。
- (2) 自転車運転に集中すること。
- (3) 時間に余裕を持って行動すること。
- (4) 保険に加入すること。



3 生徒の感想

自転車に乗るときは交通ルールを守り、自分の命は自分で守る必要があると強く感じた。今まで車は自分のことを見てくれているだろうと思っていたが車には死角があり、その時の状況によって周囲に目が届いていないことがあることを知り、自分が気をつけていなければならないことを認識した。自転車は便利な乗り物だが、事故にあったり加害者になったりする危険もあるので、注意しながら乗りたい。

(1年男子)

